

研究討論した。第三回政治部會は、大正十四年一月十七日
總同盟本部に於て開かれ、政治部權限の改正、政治部組織
の改正、政治部經費の問題、他組合との連絡等に就き協議
し、之を翌日の中央委員會に報告並びに建議し、其の承認
する所となつた。以上述べた正式部會の外に、非正式の打
合會が數回開かれた。尙ほ政治部長は、東京、大阪、神戸、
京都、足尾、野田等の各聯合會に於ける政治問題研究會に
出席した。現在政治部は、中央委員會監督の下に、無産階
級政治行動に關する研究調査及び無産組織促進に關する實
行權限を有するものである。部員は左の如くである。

赤松克廣(部長兼常任)、麻生久(常任)、山名義鶴(常
任)、西尾末廣、國領伍一郎、小泉七造、齋藤健一、關屋博
可兒義雄、上條愛一、野坂鏡、棚橋小虎、

各種報告

次に政治部のなしたる調査研究及運動に關する各種事項
を報告する。

第一 無産政黨問題

(一) 構成方法

を期することが出来る。我國の如く労働組合や農民組合の
發達の日が遠く、労働組合は四百萬の労働者の中二十萬を
組織するに過ぎず、日本農民組合は三百七十萬戸の小作農
の中、六萬(農民組合は戸主を以て組織する)を組織する
に過ぎない有様にては、且つ英國の獨立労働黨の如き未
だ有力なる知識階級政治團體の組織を見ざる現狀に於て、
政黨構成を團體單位とすることは、多くの味方たるべき無
産分子を逸することとなり、政黨の力は微弱となり、且つ
それがために、無組織無産階級がブルジョア政黨又は反動
勢力により利用され誘惑される危険がある。個人單位説は
右の缺點を救ふと共に、労働組合を政治運動の直接の衝に
當らしめざる便益がある。此れによれば、労働組合は政黨
の外にあつて、組合員は個人の資格を以て政黨に加盟する
ことになる。そして組合運動の直接の衝に當るものと、政
治運動の直接の衝に當るものとは、大體に於て分業を生じ、
兩者の仕事の混同を避け、従つて組合は其の獨自の健全な
る發達を期することが出来る。併し乍ら個人單位説の弱點
とする所は、其の構分子が茫漠たる範圍に及び、労働組
合の如き組織無産階級の意志の反映が稀薄となり、其の間
に種々なる野心家の乘する機會を與へる恐のあることは前
述の通りである。

第三の説たる折衷説は、加盟資格を團體並びに個人とな

と折衷説との三説がある。團體單位説は、労働組合(農民
組合を含む)や無産階級的思想團體を構成單位として、個
人加盟を許さずとする説である。此の説の長所は、各組合
(勿論不純組合を除く)や思想團體(政黨構成分子として
適當するものと認められたもの)は、純真なる階級意識と
階級道徳とを有するが故に、また相互の意志の疏通及び信
頼の程度が強いが故に、組織された政黨は純一なる階級
意志を表明するものとなり、無産階級を利用せんとする野
心的政治家の乘する餘地なきこととなる。若し個人加入を
許すこととなれば、普選實施後の政治氣運に乗じて如何なる
野心分子が無産政黨に混入するかも知れないからである。
併し、此の説の短所は第一、我國に夥しく現存する非組織
無産階級及び準無産階級(下級俸給生活者の如きもの)を
包容し得ざることとなる點、第二、無産階級の立場を支持
する學者思想家を包擁し得ざることとなる點、第三、労働
組合が直接に政治運動の衝に當ることとなり、労働組合と
しての活動範圍が複雑且つ廣汎となり、其の結果として組
合の健全なる發達を沮害する恐ある點之れである。

個人單位説の長所は前説の短所を補ひ、其の短所は前説
の長所を缺くことにある。即ち此の説によれば、無産政黨
は廣く無組織労働階級や知識階級を包容することとなり、
英國に於ては、一九一八年までは、労働黨は團體單位説
を取り、労働組合、獨立労働黨(社會主義者團體)フェビ
アン協會等の團體を以て構成したのであるが、一九一八年
の特別大會は黨の組織を改造し、團體加入の外に個人加入
を許し、無組織労働者の抱念に努め、筋肉労働者のみなら
ず、頭腦労働者の加入をも許し、殊に婦人加入を自由にし、
かくて全無産階級の包容を期することになった。獨逸に於
ては、労働組合は組合としては社會民主黨に加盟せず、組
合員は個人の資格を以て政黨に加盟して居る。組合は直接
に政治運動に加盟しないが、社會民主黨との間には密接な
關係を有し、兩者の目的と指導精神は同一であつて、各
々分業に従ひ、社會民主黨は政界にあつて政治的向上運動
を擔當し、労働組合は産業界にあつて經濟的向上運動を擔
當して居る。白耳義に於ては、労働組合は消費組合と共に
政黨に加盟して居るが、政黨幹部と組合幹部との兼任を
許さない規定になつて居る。

日本農民組合に於ては、始め團體單位説を取り、しかも
労働組合や農民組合だけの團體單位説を取つたが、大正十